令和２年度の事業計画書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

ＮＰＯ法人福祉事業大輪の花

１　事業実施の方針

　４月から新型コロナウイルス感染症対策による福岡県の緊急事態宣言でスタートした今年度、法人の考えとしては、自然災害の台風でも大雪でも、地震でも、予期せぬ外的要因に予定が狂うということが世の常であり何が起こるかわからない。それは良いことも悪いことも。しかし、どんな変化にも対応できる柔軟なこころと視点を持って立ち向かわなければなりません。「こうだからできない」と諦めたり嘆いたりすることは誰にでも出来る。

現在は情報化社会であり、ネットやテレビを観ていると最近新型コロナウイルスの正体が少しづつ解明されて来ています。相手をしっかり見つめ、知り、正しく恐れて、今自分達が与えられた条件の中、この状況下で出来ること、この状況だからこそ出来ることは何か、と思いついたことをスピード感を持って形にしながら、その一方で考えて考えて考え抜いている結論を出して行動していくことが重要です。

当該法人では、職員及び利用者様が徹底した感染予防対策の基、特に衛生保持や健康管理には気を付け、限られた条件や制約の中で、可能な限り通常通りの営業を継続させて頂いている。ただし、利用者様の中には、安全を考慮して自宅で自粛される方も数名、又店舗では例年春に予定されていた出店イベントも全て中止となり、全体的に多少の影響は受けている。

　現在、先の見通しは立たないが引き続き予防対策は万全に行い、営業を継続する。世の中の状況に合わせて、随時臨機応変に対応していきたいと考える。

就労継続支援Ｂ型事業ＫＯＫＯＲＯ本舗では、新型コロナウイルス感染症における委託元企業様からの受注内容に影響はなく、むしろ受託する側で他の事業所が休業や縮小をされている事もあり、その分の作業が当事業所に依頼され作業量としては増えることとなった。

この不況の中で頂いた仕事は確実に仕上げ、企業様からの信頼を損ねる事の無いように継続して行く努力を重ねて行きたいと考える。

授産作業については企業様からの受託作業の減少を補うべく新規作業の営業と受注を行い、継続して頂けるよう努力をする。

授産品の製造については、利用者様の就業姿勢や技術の向上を念頭に置き、１ランク上の人間形成と職人に育てて行きたい。

又、昨年に引き続き製菓及び製パン作業共に新商品の開発を続け、その商品にも利用者様が必ず製造に携わるようにする。そして商品の宣伝広告を徹底的に強化する。

例年の通り、利用者様には社会に出る楽しみや意義、人間関係や目標に向け継続する大切さ等を伝えたい。

　　もじのちいさなおかしやさんでは、新型コロナウイルス感染症の影響から商店街で不要不急に通行される方々が減少している。そんな中でも当店の商品を購入される常連のお客様が存在する。これまで地域に根付いた活動を地道に行ってきた成果だと考える。多少の影響はあるものの、利用者様を中心に引き続き販売活動を継続する。

現在、出店イベントの計画はありませんが、世の中の動きに合わせて秋以降位に開催されるイベント等があれば、良く検討した上で参加したいと考えます。その場合、感染予防対策を万全に整え、人選を考慮し臨んでいく方針です。

みんなの王国では、昨年度末に引続き新型コロナウイルスの感染対策を徹底することからスタートする年度となる。

　　4月7日の「緊急事態宣言」により、今まで複数の事業所を併用利用されていた利用者様に、5月6日の緊急事態宣言解除予定日までの期間、複数の事業所を併用利用することを控えていただくよう依頼しています。併せて、相談支援事業所をはじめ関係先事業所に対しても「極力接触する人間の数を減らし、感染リスクを下げましょう。」と協力を呼び掛けている。

　　多少の混乱はあるものの、皆様のご協力の下、当事業所を利用されている利用者様の併用利用は制限され、感染リスクは軽減されている状態である。

　　今年度に関しては、新型コロナウイルスの影響による事業収益の減少が十分考えられますが、職員をはじめ利用者様やそのご家族様、関係機関と協力し「感染リスクの軽減」を徹底的に行い、まずは感染者を出さないことを念頭に事業所運営を行っていく。

また、万が一事業所内で感染者が発生し、若しくは濃厚接触者が発生した場合等は保健所の指示に従い、事業所を一時的に閉鎖せざるを得ない状況も十分考えられます。みんなの王国には独居の方や主たる介護者が高齢であったり、また何らかの医療的ケアを必要とされたりと、家庭内での介護が困難な利用者様が大半であるため、場合によっては在宅生活自体がままならない方が出てきます。そのことを想定しての代替案として、臨時で利用者宅への直接訪問による支援を行うことも検討しております。在宅支援に移行した際も収益減少を最小限に抑えるため、通常請求が可能となるよう北九州市と協議を行い今後の事業所運営の存続のために努力する。

　　また新規利用者等の受入れに関しては、安全が確認されるまで基本的に断ることとし、外部からの接触を必要以上に行わないようにし、事業所内での安全管理・衛生管理を徹底する。

　　現在利用いただいている利用者様や、日々職務に邁進している職員の安全を最優先とした事業所運営を行う。

今年度は、「社会にとって福祉事業所の本来あるべき本当の役割とは何なのか。」また「この状況下で自分達に何が出来るのか？何をするべきなのか？」を真剣に考える機会であると思う。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者範囲及び予定人数 | 支出見込み額  （千円） |
| ①障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業 | 就労継続支援Ｂ型事業 | 通年 | 北九州市内 | ９人 | 障害者  55人 | 62,402 |
| 生活介護事業 | 通年 | 北九州市内 | 11人 | 障害者  50人 | 57,835 |
| 授産委託作業、授産品販売  （委託作業、菓子等の製造販売） | 通年 | 北九州市内 | ２人 | 一般市民多数 | 10,362 |
| ②障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業および特定相談支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ③障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ④障害者の福祉向上のための啓発及び情報提供事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ⑤児童福祉法に基づく障害児通所支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |
| ⑥児童福祉法に基づく障害児相談支援事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |

(2)　その他の事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者範囲及び予定人数 | 支出見込み額  （千円） |
| 物品販売事業 | 予定なし |  |  |  |  |  |